1．仕様

処理方式	バッチ式、外熱式 薪の燃焼による熱源にて炭化 助燃装置として灯油バーナー使用
火床面積	0.49m2
炭化炉容積	0.22m3
燃料	・水分 15%以下の伐採木など、木質バイオマス原料。 サイズ：□80mm 以下／長さ 300mm 以下。 ・灯油
原料名称	いのしし残渣
処理量	20L/バッチ（重量では 25kg 未満）※部位による
電源	単相 100V（コンセント）
電源容量	約 0.5kW
外形寸法	本体概略外形寸法：W 1550 , L 2300 , H 1850 ※煙突を除く。
重量	本体重量 約 1250kg ※煙突を除く。
付属品	・原料トレイ 2 個 ・原料トレイ用カート 1 台 ・炭化炉清掃ツール 1 本 ・灯油タンク 50L 1 台
予備品	・ハッチ用パッキン ･･･ 1 巻（消耗品） ・接着剤（パッキン貼付用） ･･･ 1 本（消耗品）
処理時間	約 24 時間（冷却時間を含む）
使用雰囲気	5～30[℃]
許容積雪量	※20cm（原料の出し入れ、装置下部の燃焼空気ダンパーが開閉できる事が条件。）

※著しい原料性状（水分率、かさ比重、塊など）の変動がある場合は処理能力が低下し炭化処理に時間がかかることがあります。原料は 30mm 角以下の大きさに加工し原料トレイに平たんに並べて炭化することをお勧めします。

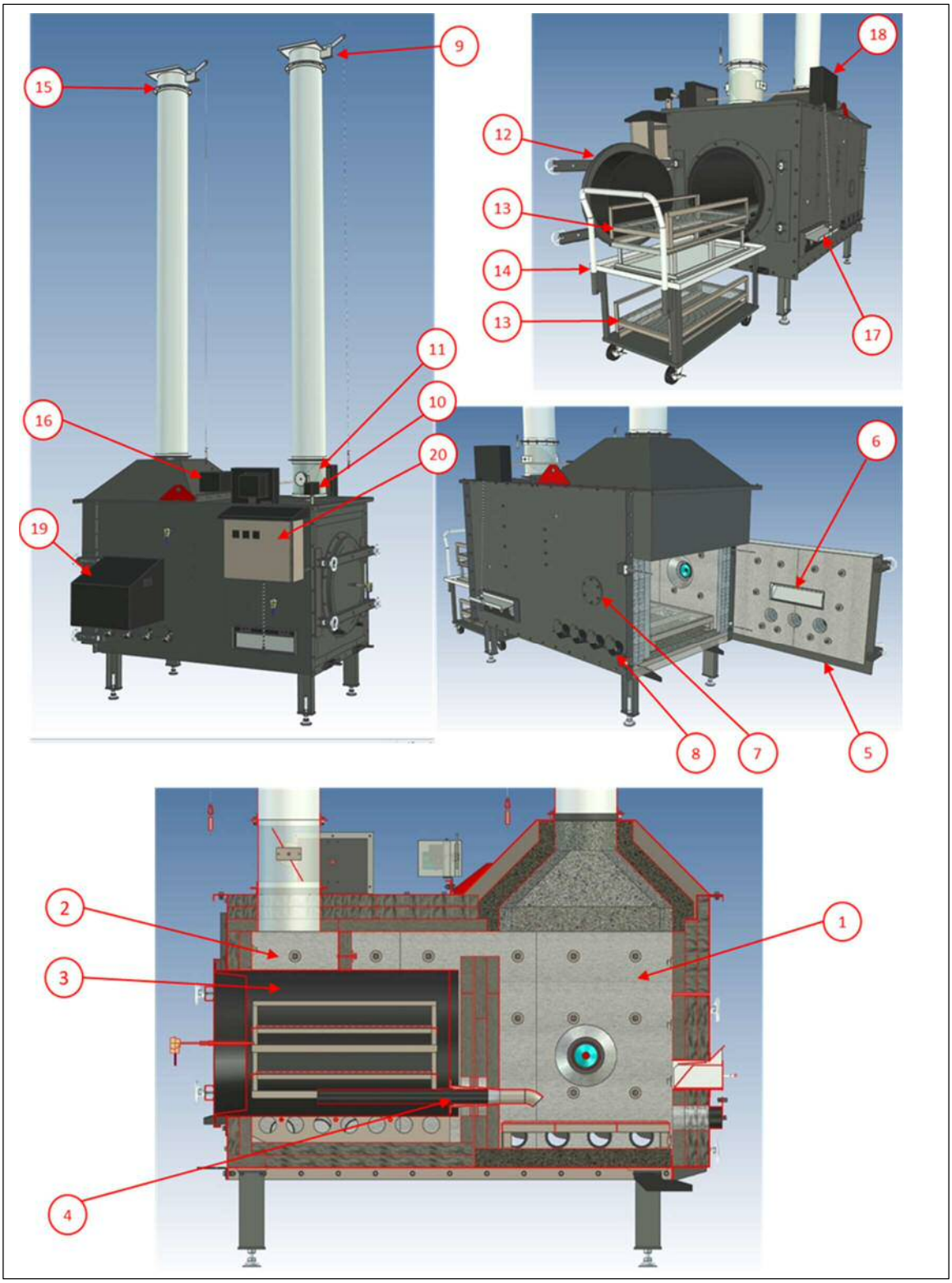
※炭化装置の周辺や排気から発生する臭気に関しては、対策が必要な場合、別途お打合せの上、御見積りを提出させていただきます。

※処理対象物の状態により機器の劣化に関する事項やランニングコストなどは異なりますので、消耗品の一定期間の保証やランニングコストの保証は除外とさせていただきます。

※設置地域特有の気候や設置周辺環境による対策設備につきましては、別途御見積をさせていただく場合が御座います。

※積雪量につきまして、屋根を設置する場合は排気ダンパーが駆動出来るよう雪おろしを行ってください。

２．装置構成



注記）形状は変更になる場合があります。

No.	名　　称	備　　考
1	燃焼室	燃料燃焼室
2	加熱室	炭化炉を加熱部
3	炭化炉	原料を炭化部
4	煙道	燃焼ガス導入管
5	燃焼室ハッチ	燃焼室に初期燃料投入時解放（薪投入）
6	燃料追加ハッチ	薪燃料を燃焼室に追加する際に使用
7	点検窓	燃焼状態目視確認用
8	燃焼空気ダンパー	燃焼室の空気量を調整　計 11 ヵ所
9	加熱室排気ダンパーと煙突	通常運転時に解放（手動）
10	加熱室排気ダンパーフック	ダンパー解放時のワイヤーフック
11	排気風量調整ダンパー	
12	炭化炉ハッチ	原料を出し入れするハッチ
13	原料トレイ	炭化する原料を乗せるトレイ
14	原料トレイ用カート	
15	燃焼室排気ダンパーと煙突	装置冷却時に解放（自動制御）
16	燃焼室排気ダンパーアクチュエーター	ダンパー駆動（自動制御）
17	冷却空気ダンパー	炭化炉冷却空気取り入れ用ダンパー（自動制御）
18	冷却空気ダンパーアクチュエーター	ダンパー駆動（自動制御）
19	助燃灯油バーナー	（自動制御）
20	制御盤	